

頁	訂正・変更内容	セッションまたは演題番号	訂正・変更前	訂正・変更後
補19	委員会会場・時間変更		学会国際化委員会 8月6日(土) 12:00~ 13:00 2F「中会議室202AB」(第6会場) 広報・情報基盤委員会 8月6日(土) 12:30~ 13:30 4F「403」 行動科学・社会科学部会 8月6日(土) 18:00~ 19:30 4F「小会議室 401」	学会国際化委員会 8月6日(土) 12:00~ 13:00 3F「305」 広報・情報基盤委員会 8月6日(土) 12:30~ 13:30 2F「中会議室201A」(第8会場) 行動科学・社会科学部会 8月6日(土) 12:30~ 13:30 4F「403」
補30, 補50, 20 補32, 補60, 70	演者変更	SS-01-1 S-13-1	島田 志帆(文部科学省) Shiho Shimada (Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology)	堀岡 伸彦(文部科学省) Nobuhiko Horioka (Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology)
補30, 補50, 24	演者の追加 演題番号の変更	特別シンポジウム2	SS-02-1 私の外科教育キャリア、山根塾の変遷 My Surgical Education Career and Transition of Yamane Juku 山根 裕介(長崎大学病院小児外科) Yusuke Yamane (Department of Pediatric Surgery, Nagasaki University Hospital) SS-02-2 当科の初期研修医に対する外科教育の実践 Surgical education for junior residents in our department of gastroenterological surgery 因下 彰彦(JA尾道総合病院 消化器外科) Akihiko Oshita (Department of Gastroenterological Surgery, JA Onomichi General Hospital) SS-02-3 外科卒後研修での新たな取り組み: 研修医のニーズを探り、より良い外科専門研修へ Evaluation of our new surgical residency program in last 5 years. 鈴木 研裕(聖路加国際病院 外科専門研修管理委員会) Akihiro Suzuki (St. Luke's International Hospital, Surgical Education Board) SS-02-4 当科で行ってきた手術シミュレーショントレーニングの経験 Our Experiences of Urological Surgical Simulation Training 安部 崇重(北海道大学大学院医学研究院腎泌尿器外科) Takashige Abe (Department of Urology, Hokkaido University Graduate School of Medicine) SS-02-5 大学院留学で外科教育を学ぶ Studying Abroad about Surgical Education for a Master's Degree 徳野 純子(京都大学呼吸器外科) Junko Tokuno (Department of Thoracic Surgery, Kyoto University)	SS-02-1 外科教育の実践とキャリア Practice and Career in Surgical Education 磯部 真倫(新潟大学医歯学総合病院 医師研修センター) Masanori Isobe (Niigata University Medical and Dental Hospital, Physician training center) SS-02-2 私の外科教育キャリア、山根塾の変遷 My Surgical Education Career and Transition of Yamane Juku 山根 裕介(長崎大学病院小児外科) Yusuke Yamane (Department of Pediatric Surgery, Nagasaki University Hospital) SS-02-3 当科の初期研修医に対する外科教育の実践 Surgical education for junior residents in our department of gastroenterological surgery 大下 彰彦(JA尾道総合病院 消化器外科) Akihiko Oshita (Department of Gastroenterological Surgery, JA Onomichi General Hospital) SS-02-4 外科卒後研修での新たな取り組み: 研修医のニーズを探り、より良い外科専門研修へ Evaluation of our new surgical residency program in last 5 years. 鈴木 研裕(聖路加国際病院 外科専門研修管理委員会) Akihiro Suzuki (St. Luke's International Hospital, Surgical Education Board) SS-02-5 当科で行ってきた手術シミュレーショントレーニングの経験 Our Experiences of Urological Surgical Simulation Training 安部 崇重(北海道大学大学院医学研究院腎泌尿器外科) Takashige Abe (Department of Urology, Hokkaido University Graduate School of Medicine) SS-02-6 大学院留学で外科教育を学ぶ Studying Abroad about Surgical Education for a Master's Degree 徳野 純子(京都大学呼吸器外科) Junko Tokuno (Department of Thoracic Surgery, Kyoto University)
補30, 補77	時間、会場変更	ランチョンセミナー1	8月5日(金) 12:40~ 13:30 第2会場(G Messe群馬 3F「中会議室302A」) August 5 (Fri) 12:40-13:30 Room 2 (G Messe Gunma 3F 'Medium Conference Room 302A')	8月5日(金) 12:40~ 13:30 第5会場(G Messe群馬 2F「メインホールA」) August 5 (Fri) 12:40-13:30 Room 5 (G Messe Gunma 2F 'Main Hall A')
補30, 補77	時間、会場変更	ランチョンセミナー2	8月5日(金) 12:40~ 13:30 第6会場(G Messe群馬 2F「中会議室202AB」) August 5 (Fri) 12:40-13:30 Room 6 (G Messe Gunma 2F 'Medium Conference Room 202AB')	8月5日(金) 12:30~ 13:20 第1会場(G Messe群馬 4F「大会議室AB」) August 5 (Fri) 12:30-13:20 Room 1 (G Messe Gunma 4F 'Conference Hall AB')
補30, 68	ファシリテーターの欠席	ワークショップ7	高下 典子(岡山大学) Noriko Kouge (Okayama University)	
補32, 補77	座長変更	ランチョンセミナー3	Tony Macknight (ADIstruments)	鯉淵 典之(群馬大学) Noriyuki Koibuchi (Gunma University)
補32, 補79	座長変更	口演(英語) 02	宮地 由佳(京都大学) Yuka Miyachi (Kyoto University)	フロレスク ミハイル コスミン(筑波大学) Florescu Mihail Cosmin (University of Tsukuba)
補33, 補76, 122	ファシリテーターの追加	ワークショップ23		市原 麻子(熊本大学) Asako Ichihara (Kumamoto University)
補32, 補87	座長変更	口演12	西城 卓也(岐阜大学) Takuya Saiki (Gifu University)	堀内(高屋敷) 明由美(筑波大学) Ayumi Horiuchi (Takayashiki) (University of Tsukuba)
補52, 34 補56	所属変更	シンポジウム1 シンポジウム6	安井 浩樹(美幌町立国民健康保険病院) Hiroki Yasui (National Insurance Bihoro Municipal Hospital)	安井 浩樹(松阪市民病院) Hiroki Yasui (Matsusaka Municipal Hospital)
補56, 52	タイトル、要旨修正	S-07-1	アドミッションポリシーと入学選抜の整合性 Consistency between Admission Policy and Student Selection. 平形 道人(慶應義塾大学) Michito Hirakata (Keio University)	Overview: 医学部入学選抜とアドミッション・ポリシーの現状と課題 Overview of the Current Status and Issues regarding Student Selection and Admission Policy for Medical School in Japan 平形 道人(慶應義塾大学) Michito Hirakata (Keio University) 大学医学部・医科大学の入学選抜は、医学、医療を担う人材を選抜するという社会的責任を担う医学教育の端緒である。そして、時代や社会からのニーズを踏まえ、高齢化社会における疾病構造の変化や医療の急速な進歩や複雑化に対応できる高度な認知能力に加え、医療人としての大切な資質・適性(医療への熱意・動機、コミュニケーション能力、患者に共感する姿勢などのプロフェッショナリズム)を評価することが求められる。近年、これに対し、1) 面接、小論文、推薦書・調査書、ボランティア活動の記録などの選抜法による学力試験に偏った入学選抜の見直し、2) 一般入試以外の推薦入試、学士編入試、AO入試、地域枠入試、研究医枠入試、外国人留学生入試、国際バカロレア、帰国生入試などの多様な人材の多面的選抜システム、が実施されている。文部科学省の高大接続改革プランでは、1) アドミッション・ポリシー(入学選抜の方針: 各大学がその教育理念と特色に基づき、学生にどのような人物像、能力、適性を求め、その評価を行うのか)を明確化すること、2) 学力の3要素(「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」)を多面的・総合的に評価する入学選抜への転換が図られている。今後、1) アドミッション・ポリシーに沿った透明性、客観性、信頼性、妥当性ある丁寧な入学選抜法の開発、2) カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)、ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との整合性、そして、卒業時までに各大学が定めたコンピテンシーを身に付けるために必要な能力の評価、が重要な課題と考えられる。本シンポジウムでこれらの課題を議論するための導入として、「入学選抜とアドミッション・ポリシーの現状と課題」についてオーバービューする。 キーワード: 入学選抜、アドミッション・ポリシー、高大接続
補73, 116	所属変更	ワークショップ 17	道信 良子(札幌医科大学) Ryoko Michinobu (Sapporo Medical University)	道信 良子(福井県立大学) Ryoko Michinobu (Fukui Prefectural University)
補73, 116	所属変更	ワークショップ 17	阿部 恵子(愛知医科大学) Keiko Abe (Aichi Medical University)	阿部 恵子(金城学院大学) Keiko Abe (Kinjo Gakuin University)
補73, 116	所属変更	ワークショップ 17	吉田 登志子(無所属) Toshiko Yoshida	吉田 登志子(一般社団法人JASP) Toshiko Yoshida (JASP)
補75, 120	所属変更	ワークショップ 21	橋本 忠幸(橋本市民病院) Tadayuki Hashimoto (Hashimoto Municipal Hospital)	橋本 忠幸(大阪医科薬科大学) Tadayuki Hashimoto (Osaka Medical and Pharmaceutical University)

頁	訂正・変更内容	セッションまたは演題番号	訂正・変更前	訂正・変更後
補79, 134	取り下げ	OE-01-2	A physician's museum in mind -visual arts and Narrative Medicine 桐山 加奈子 (千葉大学医学部附属病院 総合医療教育研修センター, Columbia University, Department of Medical Humanities and Ethics)	
補80, 139	取り下げ	O-01-5	新型コロナウイルス感染症パンデミック下での学生臨床実習の実際: アンケート調査 The clinical training of medical students during the COVID-19 pandemic 笠原 桂子 (京都大学医学部附属病院) Keiko Kasahara (Kyoto University Hospital)	
補82, 144	取り下げ	O-04-2	医学部初年次教育におけるプレゼンテーションスキルを通じたアカデミックスキルの修得 Acquiring Academic Skills by Giving Presentations in The First Year of Medical School 望月 篤 (聖マリアンナ医科大学 医学教育文化部門 医学教育研究分野) Atsushi Mochizuki (Research Institute for Medical Education, St. Marianna University School of Medicine)	
補86, 156	演者変更	O-10-1	寛 みなみ (島根大学医学部) Minami Kakehi (Shimane University Faculty of Medicine)	千手 孝太郎 (関西医科大学) Kotaro Senju (Kansai Medical University)
補89, 166	演者変更	O-15-3	佐瀬 光雄 (長崎大学医学部医学科) Mitsuo Sase (Medical School of Nagasaki University)	小浦 稜生 (長崎大学医学部医学科) Ryosei Koura (Medical School of Nagasaki University)
補89, 167	取り下げ	O-15-4	臨床検査技師養成課程における寄生虫学教育の現状分析 Current Status of Parasitology Education in Clinical Laboratory Technologist Training Programs 関根 将 (大阪公立大学大学院 医学研究科 寄生虫学教室, 森ノ宮医療大学 医療技術学部 臨床検査学科) Sho Sekine (Osaka Metropolitan Univ. Graduate School of Med. Dept. of Parasitology)	
補91, 170	演者変更	O-17-3	三浦 隆一郎 (全日本医学生自治会連合) Ryuichiro Miura (Igakuren, Japan Association for Medical Students Societies)	松尾 朋峰 (高知大学医学部) Tomomi Matsuo (Kochi Medical School)
補92, 178	取り下げ	1P-009	離島発! 楽しく学ぶ運動器POCUS Let's Enjoy The Orthopedic Point Of Care UltraSound from rural remote Island 山中 裕介 (沖縄県立宮古病院附属 多良間診療所) Yamanaka Yusuke (Tarama Clinic, Okinawa Prefectural Miyako Hospital)	
補104, 223	演者変更	2P-026	宮崎 将司 (岡山大学医学部医学科, 岡山大学病院ゲノム医療総合推進センター, 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科附属医療教育センター) Masashi Miyasaki (Faculty of Medicine, Medical School, Okayama University)	小堀 貴之 (岡山大学医学部医学科) Takayuki Kobori (Faculty of Medicine, Medical School, Okayama University)
補109, 241	取り下げ	2P-079	Student Doctor の診療録記載に対するオンライン臨床実習での指導例 An online clinical clerkship instruction for Student Doctors on how to write medical records 民谷 健太郎 (北海道厚生局) Kentaro Tamiya (Hokkaido Health and Welfare Bureau)	
補111, 247	取り下げ	2P-097	学術論文執筆への階段: ステップ・バイ・ステップ Step by Step to for Academic Paper Writing 今村 輝彦 (富山大学第二内科) Teruhiko Imamura (Second Department of Internal Medicine, University of Toyama)	
2	タイトル修正	大会長講演	多様なニーズに対応できる医師の養成を目指して 群馬大学医学部医学科の取り組み大阪医科大学の建学の精神と医療人の育成について	多様なニーズに対応できる医師の養成を目指して 群馬大学医学部医学科の取り組み
52	セッション概要差替え	S-07 (要旨)	大学医学部・医科大学の入学選抜は、医学、医療を担う人材を選抜するという社会的責任を担う医学教育の端緒である。そして、時代や社会からのニーズを踏まえ、高齢化社会における疾病構造の変化や医療の急速な進歩や複雑化に対応できる高度な認知能力に加え、医療人としての大切な資質・適性(医療への熱意・動機、コミュニケーション能力、患者に共感する姿勢などのプロフェッショナルズム)を評価することが求められる。近年、これに対し、1) 面接、小論文、推薦書・調査書、ボランティア活動の記録などの選抜法による学力試験に偏った入学選抜の見直し、2) 一般入試以外の推薦入試、学士編入試、AO入試、地域枠入試、研究医枠入試、外国人留学生入試、国際バカロレア、帰国生入試などの多様な人材の多面的選抜システム、が実施されている。文部科学省の高大接続改革プランでは、1) アドミッション・ポリシー(入学選抜の方針: 各大学がその教育理念と特色に基づき、学生にどのような人物像、能力、適性を求め、その評価を行うのか)を明確化すること、2) 学力の3要素(「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」)を多面的・総合的に評価する入学選抜への転換が図られている。今後、1) アドミッション・ポリシーに沿った透明性、客観性、信頼性、妥当性ある丁寧な入学選抜法の開発、2) カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)、ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との整合性、そして、卒業時まで各大学が定めたコンピテンシーを身に付けるために必要な能力の評価、が重要な課題と考えられる。本シンポジウムでこれらの課題を議論するための導入として、「入学選抜とアドミッション・ポリシーの現状と課題」についてオーバービューする。 キーワード: 入学選抜、アドミッション・ポリシー、高大接続	大学医学部・医科大学の入学選抜は、医学、医療を担う人材を選抜するという社会的責任を担う、医学教育評価の端緒である。その中で、アドミッション・ポリシー(入学者に求める能力、適性などについての考え方をまとめた入学受け入れ方針)は、各大学の使命・教育理念に基づき、高等学校段階までに身に付けた能力を踏まえ、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーとともに定められ、大学ガイドブック、募集要項等に公表されている。しかし、これらの整合性が十分に検討されているとは言えない。日本医学教育評価機構(JACME)による医学教育の分野別評価「医学教育の国際基準(WFME)」には、入学方針と入学選抜について、【・学生の選抜法を含め、客観性の原則に基づく入学方針を策定と履行。・身体の不自由がある学生と国内外の他の学部や機関からの学生の転編入の入学についての方針決定と対応。・アドミッション・ポリシーの定期的見直し。】等を明示することが求められている。しかし、身体不自由である学生や他分野の人材の選抜についての体制が十分に整備されていないのが現状である。さらに、文部科学省は、アドミッション・ポリシーにおいて、抽象的な「求める学生像」だけでなく、入学者に求める「学力の3要素」の能力とその測定法(基準・評価)について可能な限り具体的に記述するよう指導し、学力試験に偏った入学選抜を見直し、面接、小論文、推薦書・調査書、ボランティア活動の記録など、選抜法の多様化・多元化が図られている。しかし、各大学の理念・特色に基づいた適切な評価・判定方法は未だ確立されていない。本シンポジウムでは、「アドミッションポリシーと入学選抜の整合性」をテーマとして、医学教育の多様な視点から、1) アドミッション・ポリシーの考え方・あり方、2) アドミッション・ポリシーに基づく、入学志願者の能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価する入学選抜の実践、3) アドミッション・ポリシーと入学選抜の整合性を図る上での課題と今後の展望、について議論を深め、考えたい。 キーワード: 入学選抜、アドミッション・ポリシー、医学部・医科大学
160	共著者追加	O-12-3	富田 明日香 (愛知医科大学 医学部 4年) 中村 天音 (愛知医科大学 医学部 4年) 山森孝彦 (愛知医科大学 医学部 外国語)	富田 明日香 (愛知医科大学 医学部 4年) 中村 天音 (愛知医科大学 医学部 4年) 大橋 渉 (愛知医科大学 臨床研究支援センター) 早稲田 勝久 (愛知医科大学 医学教育センター) 福沢 嘉孝 (愛知医科大学 先制・統合医療包括センター) 山森 孝彦 (愛知医科大学 医学部 外国語)